

## 《ヤ行》

	植物名等	分類	内容による分類	内容	回答
1	ヤーコン	野菜	育て方	ヤーコンの育て方について	4月下旬から5月上旬、ポットで苗を育てる。種は20～25gのあまり大きくないものでよい。畦巾100～110cm、種間50～70cmで植えつける。肥料は堆肥等を使い、多めに施す。
2	ヤーコン	野菜	植え方	ヤーコンを植えたいが、苗は1本400円と高い。苗を見ると葉はまだ小さいが、大きくなるのか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 葉は4～50cm位まで大きくなり、背丈も1m以上になる。</li> <li>2. 種芋1個で秋には5～6個の芋と小芋が出来る。小芋を種いもにすればよい。</li> <li>3. 種芋を地中に横にして埋め、発芽したら切り分ければ何本にもなる。</li> <li>4. 植え付けは1m位の畦間と株間50cmくらいはほしい。</li> <li>5. サトイモのように、土寄せが大切。</li> </ol>
3	ヤーコン	野菜	診断	どのような植物か	南米アンデス地方のイモ、アンデスポテトと呼ばれる。
4	ヤーコン	野菜	育て方	栽培法を知りたい。	1. 里芋と同じ様に植え、管理すれば良い。
5	ヤーコン	野菜	育て方	どのように育てたら良いか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 茎が上部に伸び、地下にサツマイモ様のイモがつく。</li> <li>2. 1株で50cm以上の株となる。土寄せをして50cm以上の畦を作る。</li> <li>3. 里芋と同じ要領で育てると良い。</li> <li>4. 肥料は腐葉土位で良い。</li> </ol>
6	ヤーコン	野菜	利用法・特性	今は青々としているが、いつ頃収穫したら良いか。	葉が青い間はイモの肥大が進む。葉が黄色くなり始めたら収穫できる。但し、沢山ある場合は早く収穫しても良い。
7	ヤーコン	野菜	育て方	収穫はいつ頃か。来年も植えたいがどうすれば良いか。	11～12月に掘り上げる。種子いもは茎を少しつける。発砲スチロールなどの箱に土を入れて貯蔵し、来春茎から芽が出たらそれを植え込む。
8	野菜のプランター栽培	野菜	土づくり	どんな注意が必要か。	基本は良質の腐葉土又は堆肥を土と等量に配合(苦土石灰を少々)して使えばうまく行く。
9	ヤマアジサイ	庭木	診断	鉢植えのヤマアジサイが、未だに新芽をつけないのはどうしてか。	4月中旬頃になると、新芽は伸びているので、まだ芽が出ていないとすれば、おそらく水分不足か、寒さでやられたと思われる。
10	ヤマシャクヤク	山野草	育て方	花が咲かず、蕾のまま終わった。どうしてか。	山野に自生するものなので、この辺りでは、夜と昼の温度差がなく、さらに日当りの強い所などは乾燥してしまい、花が咲かずに終わったとも考えられる。
11	ヤマトイモ	野菜	育て方	畑の土は固い。支柱と肥料をどうするか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. やせた土地の畑ほど良いイモができる。</li> <li>2. 支柱は竹で作ればよい。</li> <li>3. 肥料は少ないほど堅くしまったイモができる。</li> <li>4. つるが一定に伸びるが摘芯はしない。</li> </ol>

12	ヤマボウシ	庭木	剪定	剪定方法は？	ヤマボウシの花芽は充実した枝の先につく。2月頃花芽のない枝をつけ根で切り戻し、混んだ部分の枝抜きをする。
13	有機栽培	その他	その他	将来は有機栽培に挑戦したい。方法は？	基本的なこと。 1. 堆肥(腐葉土)を作る①材料…落ち葉や山野草②作り方…堆肥置場を作り、原材料と土をサンドイッチ状に挟み込み、ねかせて発酵させる。その後1～3ヶ月に1回切り替えしを行なう。そして早くも6ヶ月、できれば1年、理想的には2年ねかせる。 2. 堆肥のみでは肥料成分が不足するので、菜種油粕、骨粉、魚粉を加え約一ヶ月ねかす。これを肥料として用いる。 3. 病害虫対策は有効な農薬に代わる天然資材が少ないので、発生させない環境づくりが第一となる。
14	ユキワリソウ	山野草	増やし方	種子から育てたいが、どんな土でいつ頃蒔いたら良いか。	早くも3月下旬頃からなら、ある程度発芽してくるだろうと思われる。用土は桐生砂か富士砂又は川砂をブレンドして使ってみてはどうか。
15	ユキワリソウ	山野草	育て方	買って2～3年で枯れてしまった。なぜか。	山野草のため、夏期の熱帯夜と高温と乾燥を嫌う。夏は涼しく風通しの良い所に置く。できれば、霧吹きをすると良い。
16	ユズ	果樹	診断	木の先端の方が葉が落ちてきたがどうしてか。	先端だけとすると原因は色々考えられる。1. 幹に虫が入っている。2. 根が病気に犯された。まず、枯れた部分を切り落として、様子を見る。又、根を一部掘り起こしてみる。
17	ユズ	果樹	剪定	剪定はいつするのか。	冬に切り戻し剪定をする。隔年結果するので、たくさん成った年の冬に行なうと良い。通常は間引き剪定する。
18	ユズ	果樹	診断	新梢の先が黄色くなり、縮れてくるので適当に剪定している。又葉が時折黄色くなって落ちる。植えて3～4年になるが、1年目は10個位実がついたが今年は花も咲かない。	1. 新梢先の若葉が黄緑になり縮むのは、アブラムシ又エカキムシ。 2. 古い葉が黄化して落ちるのは生理落葉で心配はない。 3. 開花が少ないのは樹勢が一段落しないため。又、剪定が問題。徒長枝や間引き剪定は良いが、枝先を常時剪定するのは花芽を摘んでしまう恐れあり。剪定は3月。
19	ユズ	果樹	病害虫(防除)	果実がすすけている。新芽先の葉が裏に巻いて、白い綿様のものがついている。	1. 果実がすすけているのはすす病。カイガラムシが発生し、分泌物からすす病になった。適切な剪定をして日当たりをよくすること。年1回(5月下～6月上旬)カイガラムシが産卵孵化した時、防除(スミチオン乳剤など)する。果実にススが見え始めたらベンレート水和剤を散布する。剪定は3月に枝の間引きを主にする。 2. 新芽につくアブラムシで葉が巻葉する。早めに防除を。 3. 白い綿様のものはアオバハゴロモの保護物。夏の発生時に防除を。
20	ユズ	果樹	病害虫(防除)	葉が黄ばんで落ちてしまうが、病気か。	病斑がでていないなら、木が弱ってきて寒さのために落葉したと思われる。石灰硫黄合剤の散布をすぐ行うこと。樹勢が弱く落葉するような状況では、石灰硫黄合剤等の散布はしない方が良い。

21	ユズ	果樹	診断	病気らしいものが見ついた。防除法は。	被害枝を切り落とす。その後、殺虫剤と殺菌剤を混ぜて散布しておく。以後は5～8月頃まで、月1～2回殺虫剤と殺菌剤を混ぜて散布すれば、ある程度防げます。
22	ユスラウメ	果樹	診断	実が初期に落ちてしまい、大きくなる。	生理的な落果と思われる。受精が行なわれなかったか、樹勢が良すぎたか悪かったかによる。肥料にリン酸分のものを与えると良い。
23	ユスラウメ	果樹	その他	花が咲くが実がならない。日当たりは良く、生育状態も良い。	受粉時に雨が多かったり、極端に乾燥したりするとよくない。また樹勢が強すぎると実付きが悪くなる。枝透かしをして、10月に堆肥を撒き、2月にリン酸、カリ肥料を与える。
24	ユッカ	観葉	診断	軟弱に伸び、木質部分の大半が腐ってしまった。下葉が枯れあがっている。	水のやり過ぎ。それにより木質部分が腐り、鉢に水をやっても吸水できなくなっている。対策として木質部を切詰め、植えなおす。水は最低でも1週間から10日経ってから。最終的には新しく伸びた新茎を挿木すると良い。
25	ユッカ	観葉	育て方	虫はつかないか。葉の散布が必要か。水のやり方は。	1. 置場所にもよるが、病虫害防除の必要性は殆どない。 2. 冬は室内。無霜期間は屋外でも良いが、日射日光が当たらない所に置く。 3. 灌水は鉢土表面が乾いたらたっぷりとする。少しずつ毎日やるのが一番いけない。
26	ユッカ	観葉	育て方	ユッカが葉を巻いてしまう。置き場所は戸外	日差しが強くなってきたためと思われる。室内か日陰に移せば自然に戻る。
27	ユリ	草花	育て方	花が終わったあとの管理はどうすれば良いか。	品種にもよるが、かのご百合系統であれば、花柄だけ切り落とし、肥料として化成肥料を施肥しておく。カサブランカの系統は根元の回りに腐葉土を撒いて乾かないようにする。その他も同様。
28	ユリ	草花	植え方	球根を植えたい。球根の土(市販)で植えても良いか。	1. 球根用土でも良いし、自分で赤玉土に腐葉土を20%位混ぜて植えても良い。 2. やや深めに(球根の厚みの3～5倍)植えること。 3. 肥料は、芽が出始めた時と、花後に。化成でも置肥でも良い。 4. 毎年又は3年に1回の植替え。茎葉が枯れてきたら掘上げ、球根を取り出し、生子(きご:ユリやコンニャクの類の地下の茎に出る玉状の芽)は別に育てること。
29	ヨトウムシ	その他	病虫害(防除)	花壇やプランターのさくらそうに何匹もいて困る。成虫を捕まえたが、どんな成虫か。	1. 成虫は茶褐色の蛾で体長4～5cm。成虫は昼間は植物の葉陰にいて、夕方から活動しかなりのスピードで幾何学的に飛び動くので捕まえるのは難しい。 2. 防ぐには幼虫の捕殺か、スミチオン乳剤1000倍液の灌注が良い。
30	ヨモギ	山野草	利用法・特性	ヨモギダンゴを作りたい。2種あるがどちらが食べられるか。また、どのように用いるのか。	ヨモギとオオヨモギ、どちらも若葉は食べられる。《利用法》摘んだ若芽を湯がき、水分を絞り、スリコギで潰してダンゴに混ぜる。乾燥して粉にして貯蔵する。冷凍保存もOK。